

展覧会スケジュール



実施期間	時間	会場	会場までのアクセス
10/31(火)～ 11/2(木)	午前10時～午後5時 ※初日：午後3時から ※最終日：正午まで	東久留米市立 東部地域センター 講習室	東久留米駅東口より徒歩11分/ 東久留米駅東口より西武バスで 「神山大橋」下車 徒歩1分
11/7(火)～ 11/12(日)	午前10時～午後5時 ※初日：午後3時から ※最終日：正午まで	清瀬市 郷土博物館 ギャラリー	清瀬駅北口より徒歩約10分/ 清瀬駅北口より西武バスで 「郷土博物館入口」下車 徒歩1分
11/14(火)～ 11/19(日)	午前10時～午後5時 ※初日：午後3時から ※最終日：正午まで	東村山市立 中央公民館 展示室	西武新宿線東村山駅東口から 徒歩2分/グリーンバスで 「東村山駅東口」下車 徒歩2分
11/21(火)～ 11/26(日)	午前10時～午後5時 ※初日：午後3時から ※最終日：正午まで	小平市 中央公民館 ギャラリー	西武多摩湖線青梅街道駅南口から 徒歩5分/コミュニティバスで 「小平中央公民館」下車 徒歩1分
11/28(火)～ 12/3(日)	午前10時～午後5時 ※初日：午後3時から ※最終日：午後3時まで	西東京市 コール田無 イベントルームA・B	西武新宿線田無駅北口から 徒歩7分

令和5年度 多摩六都フェア

パラアート 展覧会

コール田無での展覧会期間中に様々なコラボレーション事業を実施します！

12/2 (土)

「対話による美術鑑賞」事業 体験
【イベントルームA・B】

12/3 (日)

障害福祉課とコラボレーション【多目的ホール】パラスポーツ体験イベント・講演会
スポーツ振興課とコラボレーション【会議室A・B】モルック体験会

※詳細は、決まり次第、西東京市ホームページでお知らせします。

表彰式

令和5年12月3日(日)『西東京市 コール田無』にて表彰式を開催します。
受賞者へは賞状と記念品を贈呈する予定です。
(最優秀賞(1作品)、優秀賞(2作品)、多摩六都特別賞(5作品)、入賞(数作品)を
選出する予定)

どなたでもご来場いただけますので、是非お越しください。
詳細は決まり次第、西東京市ホームページにてお知らせいたします。

【問い合わせ】

社会福祉法人さくらの園(受託事業者)パラアート担当
TEL:042-467-1081 E-mail:t2sakura@estate.ocn.ne.jp
受付時間：月～金曜日(9:00～17:00)※祝日除く
【主催】多摩北部都市広域行政圏協議会・西東京市



多摩六都 フェア

西東京市では、多摩北部都市広域行政圏協議会(小平市、東村田市、清瀬市、東久留米市、西東京市)とともに、音楽や芸術等の文化活動を通じて広域的交流を図るため、「多摩六都フェア」で毎年ワークショップを開催しています。今年度も障害の有無に関わらず、誰もが文化芸術に親しめるよう、「パラアート制作ワークショップ」を開催しました。ワークショップで制作した作品と、一般公募した作品を、パラアート展覧会で展示します。

パラアート制作ワークショップ 内容

(会場：障害者総合支援センターフレンドリー)

第1回9月16日(土) キットパスアーティストとコラボ

安心・安全に使えるクレヨン「キットパス」を使用して、自身の顔が映るアクリル板に顔を描きました。展覧会では来場した方が自身の顔を当てはめることも出来るように展示していますので、ぜひ！顔をはめて楽しんでみてください。キットパスアーティスト「鈴木 信子」さんとのコラボレーション作品(合作)もお楽しみください。



第2回9月30日(土)

カフェとコラボ オリジナルアイテムの制作

オリジナルの「コーヒーカップ」や「タンブラー」など、手で触れることの出来るアート作品を制作しました。展覧会終了後には、西東京市にある「Cafeもぐもぐの森」にて実際に使用します。展覧会来場者だけではなく、カフェを利用する方々にも見て、触れて、頂く予定です。



第3回10月7日(土) デザインユニットとつくる巨大作品

大きなキャンバスに、巨大な筆・軍手・スプレーなど、様々な画材を使用して、全身を使って自由に描きました。デザインユニット「グーチョキパー (GOO CHOKI PAR)」制作の、花をモチーフとしたステンシルをベースに、色とりどりの花を咲かせました。参加者の個性溢れる絵とコラボレーションされた、展覧会におけるメイン展示物をお楽しみください。



第4回10月14日(土)

手の動きで表現!? 新感覚ダンスと踊りの絵札づくり

ダンサーであり、障害者と共に作り上げるアートプロジェクトTURN」の参加アーティストでもある「大西 健太郎」さんを講師に迎えました。大西さんが手話を基にした詩の朗読表現から着想を得た『手れよむダンス』。日常の何気ない風景を、言葉を使わないダンスと絵画作品で表現しています。

